

# Nexus 7000 に関する FAQ : SpineControlBusテストが失敗した場合に実行する推奨処置は何ですか。

## 内容

### 概要

[SpineControlBusテストが失敗した場合に実行する推奨処置は何ですか。](#)

## 概要

このドキュメントでは、SpineControlBus テストについて説明し、テストに失敗した場合に実行すべきアクションを示します。

SpineControlBus テストは、スパイン カードからスーパーバイザ カードへのスタンバイ制御バス接続をチェックする診断テストです。スパイン カードは、Xbar やファブリックなどの他の名前でも呼ばれることもあります。各スーパーバイザ モジュールから各スパイン カードまでは 2 本の制御バスが走っています。そのうちの 1 本しか使用されませんが、もう 1 本はプライマリで障害が発生した場合のバックアップとして保持されます。

これは無停止テストです。このテストは、20 回連続で失敗したら自動的に無効になります。このテストの失敗は致命的とは見なされませんが、そのスーパーバイザ カードとスパイン カードのペアの高可用性が低下していることを示しています。

## SpineControlBusテストが失敗した場合に実行する推奨処置は何ですか。

1. シスコ バグ ID [CSCuc72466](#) 「アクティブとスタンバイの両方のスパイン制御バスで障害が発生する」は無視してください。SpineControlBus は、スクラッチ レジスタにアクセスして、スパイン カードへのアクティブ アクセスとスタンバイ アクセスをテストし、スパインが機能しているかどうかを判断します。ただし、そのアクセスは一度に 1 回しか実行できません。アクティブとスタンバイの両方が同時にテストを実行すると、どちらかのテスト（通常はスタンバイテスト）に失敗します。このエラーは、疑似警報であり、実際のハードウェアの障害を示しているわけではありません。テストがアクティブ スーパーバイザとスタンバイ スーパーバイザで同時に実行されないことを保証するには、次の回避策を適用します

。

```
N7K(config)# diagnostic monitor interval module <supervisor_slot_number>
```

```
test SpineControlBus hour 0 min 0 second 31
```

```
N7K# diagnostic clear result module <supervisor_slot_number> test 11
```

show diagnostic content module X コマンドを入力して、SpineControlBus のテスト ID を決定します。注：上記回避策では、エラーの可能性は低くなりますが、エラーが発生しないこ

とは保証されません。もう1つの回避策は、スタンバイスーパーバイザ上のテストを無効にすることです。show diagnostic result module X test SpineControlBus detail コマンドを使用してテストのモニタを継続します。注：テストがエラーで無効になる場合があります。テスト結果をクリアして、テストを再実行するには、スーパーバイザをリセットします。シスコバグ ID [CSCuc72466](#) は [NX-OS リリース 6.2](#) で修正されました。

- 上記バグを無視してもエラーが発生する場合は、次のアクションを実行します。テストに何回も失敗する場合は、スーパーバイザの障害を示している可能性があります。アクティブスーパーバイザがテストに失敗する場合はスーパーバイザのスイッチオーバーを試すか、スタンバイスーパーバイザがテストに失敗する場合はスタンバイスーパーバイザをリロードして問題がクリアされたかどうかを確認します。その場合は、スーパーバイザを交換します。それ以外の場合は、一般的ではありませんが、複数のスパインカードに伴う問題または複数のバスの障害を示している可能性があります。1枚のスパインカードで障害が発生した場合は、そのスパインカードを別の問題のないスロットに挿入して、そのスパインカードで問題が発生するのかどうかを確認します。発生した場合は、スパインカードを交換します。そうでない場合は、バスに伴う問題を示しており、シャーシを交換する必要があります。**例**

```
Nexus7000# show diagnostic result module 5 test SpineControlBus detail
Module 5: Supervisor module-1X (Active)
  11) SpineControlBus E
      Error code -----> DIAG TEST ERR DISABLE
      Total run count -----> 676018
      Last test execution time ----> Tue May 14 18:30:47 2013
      First test failure time -----> Sat Oct 13 17:55:06 2012
      Last test failure time -----> Tue May 14 18:30:47 2013
      Last test pass time -----> Tue May 14 18:30:17 2013
      Total failure count -----> 30
      Consecutive failure count ---> 1
      Last failure reason -----> Spine control test failed
      Next Execution time -----> Tue May 14 18:31:17 2013
XBar      1  2  3
-----
          F  F  F
```